

	観点			
学年	造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
1年	・楽しく表したり見たりする態度を育てるために、多様な表現方法を認めたり、作品のよいところを全体に広げたりする。 ・共同で活動したり、友達の作っている様子を見ながら自らの活動に生かしたりできる場を作る。	・自分の表したいものを表すために、好きな色を考えさせたり面白い形を考えられるようにする。	・材料や用具の基本的な扱いや表現の技法が身に付くようにする。 ・いろいろな活動を通して体全体の感覚を育てる。 ・絵の具の扱いに慣れ、楽しみながら表現できるよう段階的に指導する。	・作品の面白さや楽しさを感じ取るようにするために、友達と作品を見合ったり、感想を伝え合ったりできるように、グループや全体で学び合う機会を多くする。
2年	・自分の感覚や活動を基に形や色などをとらえ、さらにイメージを広げられるようにする。	・材料を組み合わせることによって映し出される形や色が変わること気付くことができるようにする。さらに自分の思いに合うような形や色になるように材料を選んだり光の当て方を考えられるようにする。	・絵の具をはみ出さずに塗ったり、きれいに色を塗り重ねたりする技能が身に付くようにする。 ・児童が安全に正しく用具を扱えるよう、基本的な用具取扱いの指導を行う。絵の具や水の「適量」を考え、適切な使い方をさせる。	・自分や友達の作品のよさに気付けるよう、お互いの作品を見合う時間を確保する。
3年	・さまざまな材料や用具の体験を行い、さらに楽しんで活動できるようにする。	・材料の感じや特徴から想像したことや、感じたことを基に表したいことを見付け、形や色のよさや面白さを生かした表し方を考えられるようにする。	・材料や用具の特徴を生かして使い、表し方を考え、工夫して表すことができるようにする。	・作品を作る過程で、自然と友達の作品や身近な美術作品を鑑賞し、よさや面白さを感じ取る場を大切にする。
4年	・前学年までの材料や用具の体験を生かしつつ、彫刻刀など新しい道具や素材も取り入れながら作品づくりに取り組む。	・いろいろな材料や技法から試したいことを思い付いたり、できた模様の特徴をとらえて組合せなどを考えられるようにする。	・材料や用具の特徴を生かして使い、表し方を考え、工夫して表すことができるようにする。	・作品を作る過程で、自然と友達の作品や材料、身近な美術作品を鑑賞し、よさや面白さを感じ取る場を大切にする。
5年	・電動系鋸や彫刻刀など、新しい素材や道具も取り入れながら作品づくりに取り組む。	・自分のイメージをもち、表すとともに、心や感情について自分の思い描いたイメージが表れるような形や色を考えられるようにする。	・児童が自分の表したいことや思いに合わせて、使いたい材料や用具の特徴を生かし、工夫して表せるように環境を整える。	・感じ取った良さを、友達にわかりやすく伝えることができる。 ・自分たちの作品や親しみのある作品などに出会い、よさや美しさに気付く、感じ取れるようにする。
6年	・前学年までの材料や用具の体験を生かし、自分の見方や感じ方を大切に、さらに表したいことをすすんで表現できるようにする。	・心の中で思い浮かべたり、考えたりしている楽しいことや不思議な世界の形や色を想像し、効果的な表現方法を考えられるようにする。 ・自分や友達の姿などを見て、見つけたことや感じたことを作品に取り入れる。	・技術的な能力を高め、材料や用具の特徴を生かし、表現に適した方法などを考えて工夫させて表せるようにする。	・自分たちの作品や親しみのある作品などに出会い、よさや美しさを感じ取り、児童がお互いの感じ方を交換しあえる場を設定する。